

好きです！

南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力



前期後半スタート！！

～「チャレンジ！ もっと前進！」育てた
「協力する力」「考える力」「やり抜く力」～

夏休みが明け、8月27日（木）から前期後半がスタートしました。校舎に子供たちの元気な声と輝く笑顔が戻り、学校が活気づき、とても嬉しく思います。

「前期後半始めの会」では、熊本出身の大竹耕太郎選手と村上宗隆選手のお話を通して、令和8年熊本地震等での体験から学んだ「当たり前」の日常への感謝を振り返りました。また、戦後81年間の平和や幸せは特別なことではないことを、南関三小でも一人一人ができることを考えるよう呼びかけました。友達の思いに寄り添うことや「ぐう・ぺた・ぴん」で人の話を心で聴くといった、毎日の生活の中にあることを確かめ合いました。こうした身近な「できた！」の積み重ねが、お互いを大切にする温かい学校をつくっていきます。

今年度の合言葉は「チャレンジ！ もっと前進！」。失敗を恐れず小さな一歩を踏み出す子供たちを、前期後半も職員一同で支えています。保護者・地域の皆様、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

南関第三小学校 前期後半始めの会

平和な世界へ

やり抜く力

南関三小でもできることを

協力する力

考える力

南関三小プロジェクト

全校一丸となって ～チーム南関三小
で進める「プロジェクト南関三小」～

南関第三小学校では、「学びづくり部」と「心と体づくり部」を中心に、1か月ごとにテーマを決めて取り組む共通実践「プロジェクト南関三小」を進めています。短期間で重点的に行うことで、子供たちが「できた！」という達成感を味わいながら、「チャレンジ！ もっと前進！」の気持ちを育てています。



今月は、「机上の整理をしよう」ということで休み時間での準備や机の整理整頓、「誰にでも先取りあいさつ」に挑戦しています。高学年が下級生に優しく声をかけたり、登校班のあいさつがうまくできたときにはシールで記録したりすることで、校内には活気が広がっています。

「学びづくり部」と「心と体づくり部」での部会により、教職員全体が同じ方向を向いて子供たちの成長を支える「機能する組織」として進めています。子供たちと先生たちの毎日の積み重ねが学校全体の力となり、共通実践により確かな成果につながっています。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行っています。「自宅からゴミを学校まで持ってきてパッカー車に直に入れ、自分のごみがどのように処分されていくのかを学んだことや、クリーンパークファイブとエコアくまもとを訪れ、ゴミをクレーンでほぐしたり埋め立て処分場での散水や水処理したりするなどリサイクルの仕組みを見学し、いろんな方法があることを実感したこと」を綴った4年生の竹隈伊織さん「リサイクルの仕組み学んだ」【R8.7.6日付け熊日】が掲載されました。どうぞご覧いただきご一読ください。南関三小では、国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めています。